

福島第一原子力発電所 3/4号機排気筒における部材落下リスク低減対策の実施について

< 参考資料 >
2021年10月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所構内においては、排気筒からの部材落下リスクを踏まえ、排気筒周辺について、区画や立ち入り規制、安全通路の設置等により、作業員の安全確保に努めています。
- 3/4号機排気筒においては、2019年に実施した調査等により、高さ約76mにある部材（点検用足場1枚）の設置状態がやや不安定であることを確認しています。
- 当該の点検用足場については、定期点検等により監視を継続しており、設置状態に有意な変化は確認されておらず、直ちに落下するものとは判断していませんが、リスク低減対策として、明日（10月9日）固縛治具による固縛作業（図3参照）を行う予定です。なお、当該の点検用足場の他に設置状態が不安定な部材は、現在確認されていません。
- 固縛作業にあたっては、大型クレーンを使用した遠隔操作での作業となることから、モックアップにより作業の実現性を確認しており、天候（風雨）の状況を見ながら、作業員の安全を最優先に慎重に行います。

